

形に残る仕事で、地元  
のまちづくりに貢献した  
い。岡山工業高建築科  
を卒業後、東京のセネコ  
ン勤務を経て中途入社。  
5年目を迎え、エレベ  
ーターや荷物の昇降機  
を設置する際の間取りや  
配線の検討、施工図面の  
作成などに携わってい  
る。

設計は先輩2人しかい  
ない少数精鋭の部隊で、  
昨年メンバーに選ばれ  
た。パソコンに向かって  
黙々と仕事をする印象が  
強いと思うが、実は工事  
前の打ち合わせなど顧客  
と会って話す機会が多  
い。仕様調整が難航すれ

メレック(岡山市)でエレベーターなどの実施設計を担当する

藤田健太郎さん(24) 岡山

## 新星 駆ける!

ば工期に影響するだけ  
に、設計技術に加えて  
顧客との対話力も欠か  
せない。

駆け出しから3年間  
は自動ドアや荷物昇  
降機の点検・修理を担  
当し、月80件程度の取  
引先を回った。設備を  
長く安全に使ってもら  
うためにはどうしたら  
よいか、相手の立場を  
考えた提案を大切にし  
ていた。設計でも顧客  
の要望に「できる、で  
きない」と返すのでは

## 納得される提案を



なく、納得できる提案  
を出せるよう心掛けて  
いる。

本年度末には、初め  
て携わったエレベ  
ーターの設置が完了する  
予定。これまで手掛け  
た荷物昇降機と違っ  
て人を乗せる設備の  
ため、責任を一層強く  
感じる。将来、自分の  
関わったエレベーター  
を街の至る所で目にす  
るようになれば、と思  
う。(鈴木省吾)

随時掲載

顧客への提案を大切にしま  
ながらエレベーターの実施設  
計に携わる藤田さん